設定例

Windows10端末の設定

概要

L2TPv2 over IPsec機能を使用してWindows10端末から接続する設定手順をご説明します。 端末機種はDELL Vostro14 3000 です。

手順	設定内容	画面表示
1	①Windows10左下のスタートボタンをクリックしてします。 ②「設定」を選択します。	 □ ドキュメント □ ピクチャ ◎ 設定 2 ○ 電源 □ こに入力して検索
2	「設定」のメニュー画面が表示されたら、「ネットワークとインターネット」 を選択して、次を実行します。 ①左側のメニューにて「VPN」を選択します。 ②右のような画面が表示されたら、「VPN接続を追加する」をクリック します。	 ◆ 設定 - □ × ☆ ホーム シアワ シアリンク・オット ジ 状態 ジ いの名 <
3	右の画面が表示されますので、以下の5つの情報を入力もしくは確 認します。 1)VPNプロバイダー: 「Windows(ビルトイン)」と表示されていることを確認します。 2)接続名:任意の名前を入力します。 3)サーバ名またはアドレス:お使いの環境に合わせて接続先のサー バ名もしくはアドレスを入力します。本設定例では、FILELnet装置 のWAN側アドレス(192.0.2.1)となります。 4)VPNの種類: 「事前共有キーを使った L2TP/IPsec」を選択します。 5)事前共有キー:事前共有キー(Pre-shared Key)の文字列 を入力します。 上記5つの情報を入力したら、右下の「保存」をクリックしてください。	★ P2 VPN接続を追加 VPN プロパダ- Windows (ビルトゲン) ◆ F接地を F接地を FFUT-Stxはアドレス 192.0.2.1 VPN の優期 FFUT+ST VPN の優期 FFUT+ST VPN の優期 FFUT+ST V/Y/YILL MORES PUT-Stxはアドレス 192.0.2.1 VPN の優期 FFUT+ST FFUT+ST VPN の優期 FFUT+ST VPN の優期 FFUT+ST FFUT+ST VPN の優期 FFUT+ST FFUT



手順	設定内容	画面表示
7	プロパティのセキュリティタブを開き、以下を選択して、OKをクリックしま す。 1)VPNの種類: IPsecを利用したレイヤー2トンネリングプロトコル(L2TP/IPsec) 2)データの暗号化:暗号化が必要 3)認証:次のプロトコルを許可する ・チャレンジハンドシェイク認証プロトコル(CHAP)	VPN-TEST0/Tu/fy/ × 金融 オブッシッ (セキュリティ キットワーク 共年 VPN の資源①: Precを利用したレイヤー2 トンネリング Tuトコル (L12P/IPect) × データの端号化(D): 詳細設定(S) 第三日におり」 (EAP) を使う(E) 第三日におり」 (EAP) を使う(E) 第三日にない(L12) アロ・(Far All All All All All All All All All Al
8	プロパティのネットワークタブを開き、「インターネットプロトコルバージョン 4」をチェックして、プロパティをクリックします。	WH-TEST0/DU/Cr × 金岐 オブション セキュリティ (ネットワーク) 大手 ご使地は次の項目を管理します(ロ): ごた パジェネット DDI-DU/C ビジンタ GTCP/DP+G ・ 「アイマネット DDI-DU/C ビジンタ GTCP/DP+G ・ 「「」 ・ソーク・フク用: DクI-DU/C ジンタ GTCP/DP+G 「」 ・ソーク・フク用: DクI-DU/C ジンタ・大手 「」 ・ソーク・フ用: DクI-DU/C ジンタ・大手 「」 ・ソーク・フ用: DクI-DU/C ジンタ・大手 「」 ・ソーク・フ用: DクI-DU/C ジンタ・大手 「」 ・ソーク・フー用: DクI-DU/C ジンタ・大手 「」 ・
9	詳細設定をクリックします。	インターネットプロトコルパージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ × 全般 ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされている場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を開い合わせてください。 ● IP アドレスを自動的に取得する(Q) ● 次の IP アドレスを自動的に取得する(Q) 次の IP アドレスを使う(S): IP アドレス(D): ● DNS サーパー(の)ドレスを使う(E): 優先 DNS サーパー(の)ドレスを使う(E): (代替 DNS サーパー(A): アリック (代替 DNS サーパー(A):

手順	設定内容	画面表示	
10	「リモートネットワークでデフォルトゲートウェイを使う」のチェックを外し て、OKをクリックします。	TCP/IP 詳細設定 × IP 設定 DNS WINS このチェック ボックスは、ローカル、ネットワークとダイヤルアップ ネットワークに同時に 課税しているときにのみ。現用おます、オンになっている場合、ローカル、ネットワーク で送信できないデータはダイヤルアップ ネットワークに転送されます。 <td <t<="" td=""></td>	
11	インターネットプロトコルバージョン4のプロパティに戻りましたら、OKをク リックします。	インターネットプロトコル、バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロバティ × 金破 キットワークでこの爆撃がサポートされている場合は、IP 影定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 影定を開い合わせてください。 ● IP アドレスを自動的に取得する(D) ◇ 次の IP アドレスを信動的に取得する(D) ◇ 次の DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(D) ◇ 次の DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(D) ◇ 次の DNS サーバーのアドレスを信動的に取得する(D) ・ ● DNS サーバーのアドレスを信動的に取得する(D) ・ ● DNS サーバーのアドレスを信号(D): ・ ● DNS サーバー(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(-(
12	VPN接続名のプロパティに戻りましたら、OKをクリックします。	VPN-TEST0プロパティ × 金級 オブション セキュリティ キットワーク 共有 この接続は次の項目を使用します(Q):	

手順	設定内容	画面表示
13	コマンドプロンプトにてPowershellを実行して、右の画面のように VPN接続先の経路情報を登録します。本設定例では、FITELnet 装置のLAN側のホストと通信するために、192.168.1.0/24を登 録します。	■ マンド プレンド・Powershell → 「Powershell」と入力 C:¥Users> C:¥Users> C:¥Users>Powershell → 「Powershell」と入力 Windows PowerShell ← 「Powershell」と入力 Windows PowerShell Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved. 新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https: //aka.ms/pscore6 PS C:¥Users> Add-VpnConnectionRoute ← 「Add-VpnConnectionRoute」と入力 コマンド パイプライン位置 1 のコマンドレット Add-VpnConnectionRoute 次のパラメーターに値を指定してください: ConnectionName: VPN-TEST ← VPN経路を入力 PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users> PS C:¥Users>
14	設定>ネットワークとインターネット のメニューでVPNを選択して、 手順3で追加したVPN接続名を選択して、「接続」をクリックします。	 ◆ 設定 ホーム シアトリ ジアリン ジャリン <
15	VPNアカウントとパスワードを入力して、OKをクリックします。	Windows 世キュリティ × サインイン user-xxx1@xxxx.ne.jp ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
16	「接続済み」の表示が確認されたら、接続完了です。	 ◆ 静定 → -ム ② ホーム ジアンクンインターネット ③ 状態 ④ サットラークンインターネット ③ 状態 ④ イーガネット ③ イーガネット ③ ダリロ1 ④ マリロ1 ④ マリロ2 ④ マリロ2 ④ マリロ3 ● ジアN ● 様内モード ● ゴロキッ (● ブロキッ File オブション File オブ File オブション File オブション File オブション File オブ File オブション File オブ File オブション File オブション File オブション File オブ F